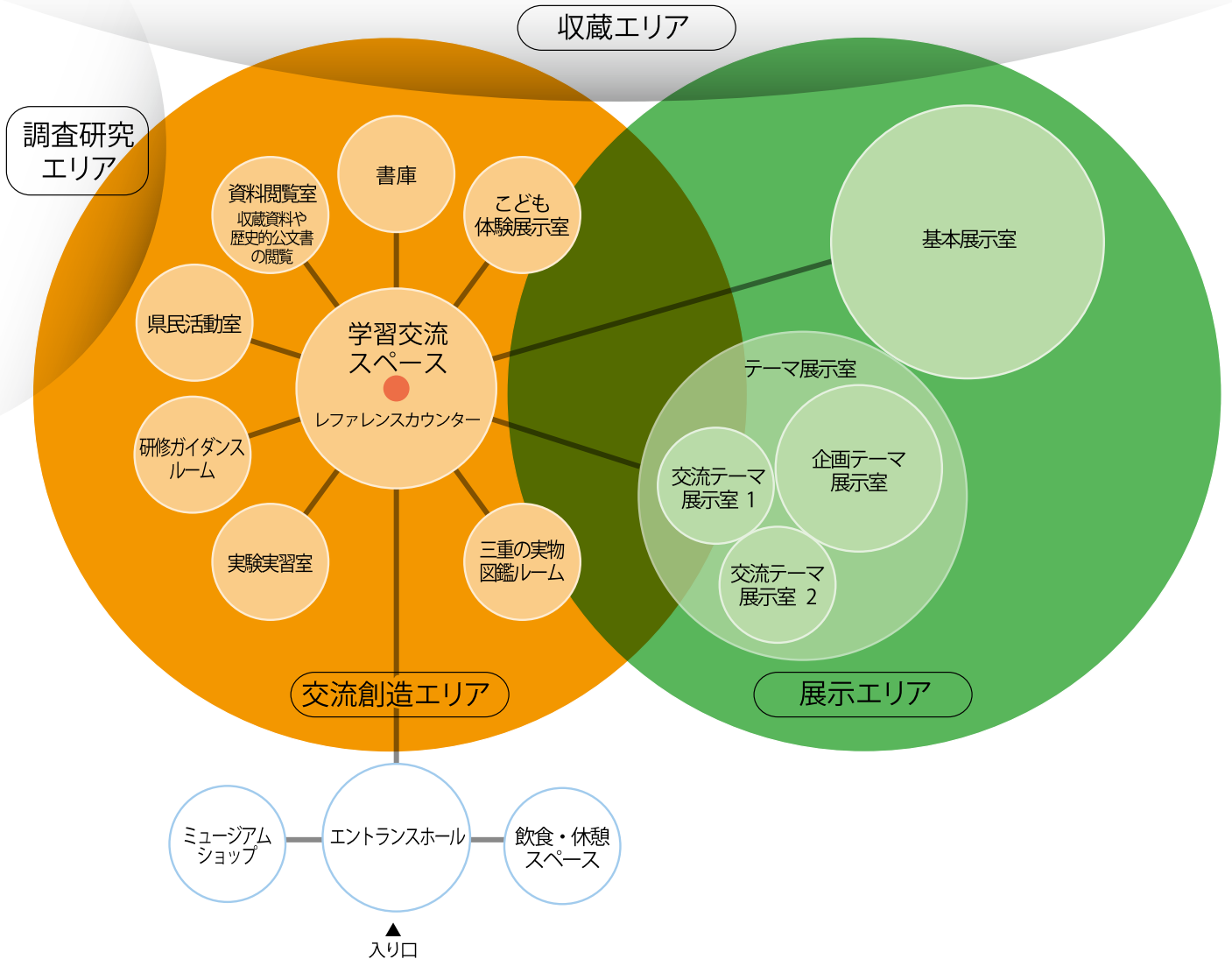


基本的な
考え方

すべての博物館活動を県民・利用者のみなさんへ開き、各エリアが連動して、博物館全体で三重が持つ『多様性の力』を創造・発信

交流創造エリアと展示エリアが融合し、新たな知を創出



交流創造
エリア

三重の自然と歴史・文化に関する資料、情報を活用し、誰もが気軽に主体的に活動できます。

さまざまな博物館活動への入り口、交流創造を積極的に展開するための中核的な役割の場となります。県民・利用者のみならずと館、みなさん相互の対話や交流が活発に展開されることで、三重の誇りや新たな創造につなげ、発見する場、好奇心いっぱいの子どもたちが集う場となります。

展示
エリア

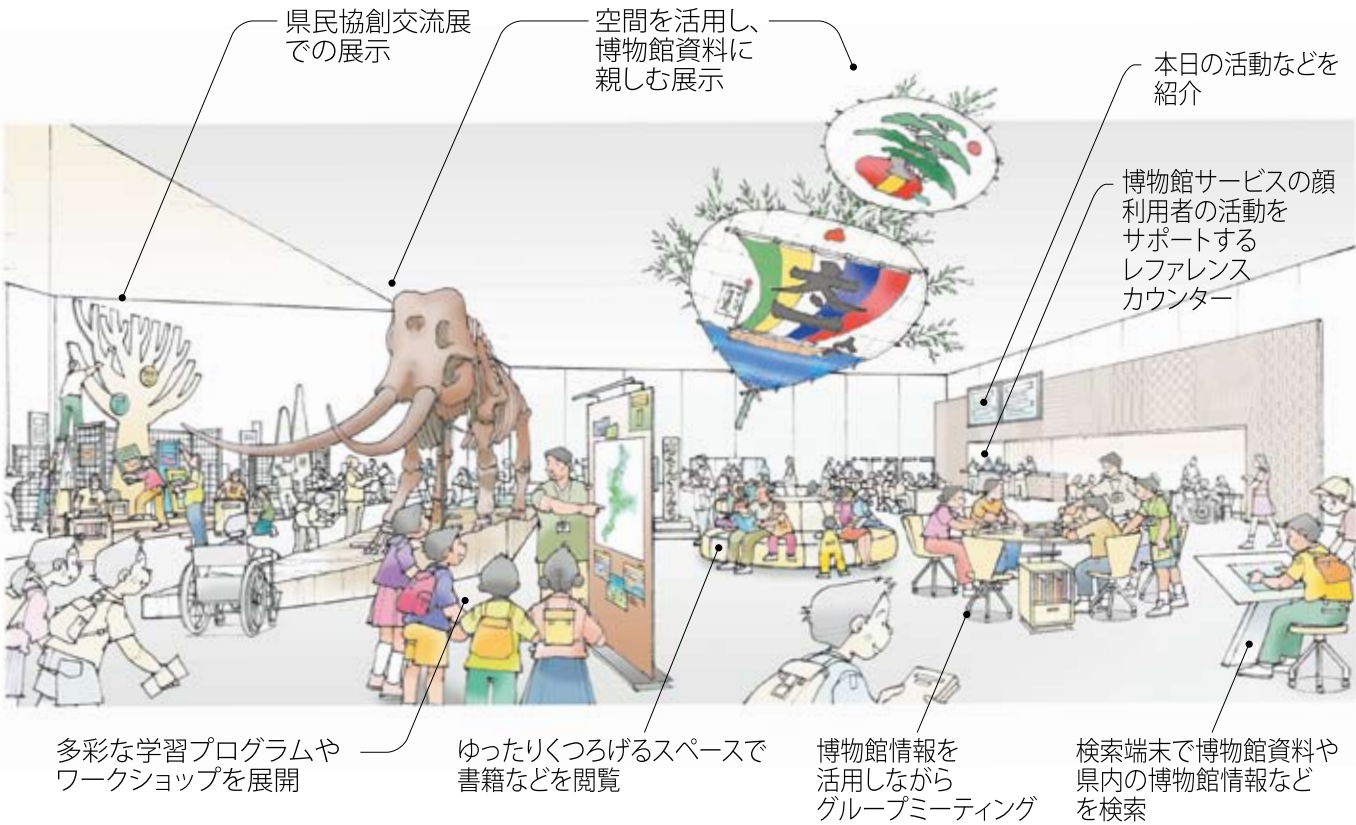
基本展示室とテーマ展示室が連動し、多様な三重を伝え、未来へつなげる展示です。

三重の多様で豊かな自然と歴史・文化のあらしを紹介する「基本展示室」と、複数のテーマによる大小さまざまな企画展示の組み合わせで展開する「テーマ展示室」とを連動させ、三重の多様性や魅力を多角的、多面的に紹介します。

交流創造
エリア

活動がみえる、交流を促す、創造の場

交流創造エリアの活動イメージ



子ども 体験展示室

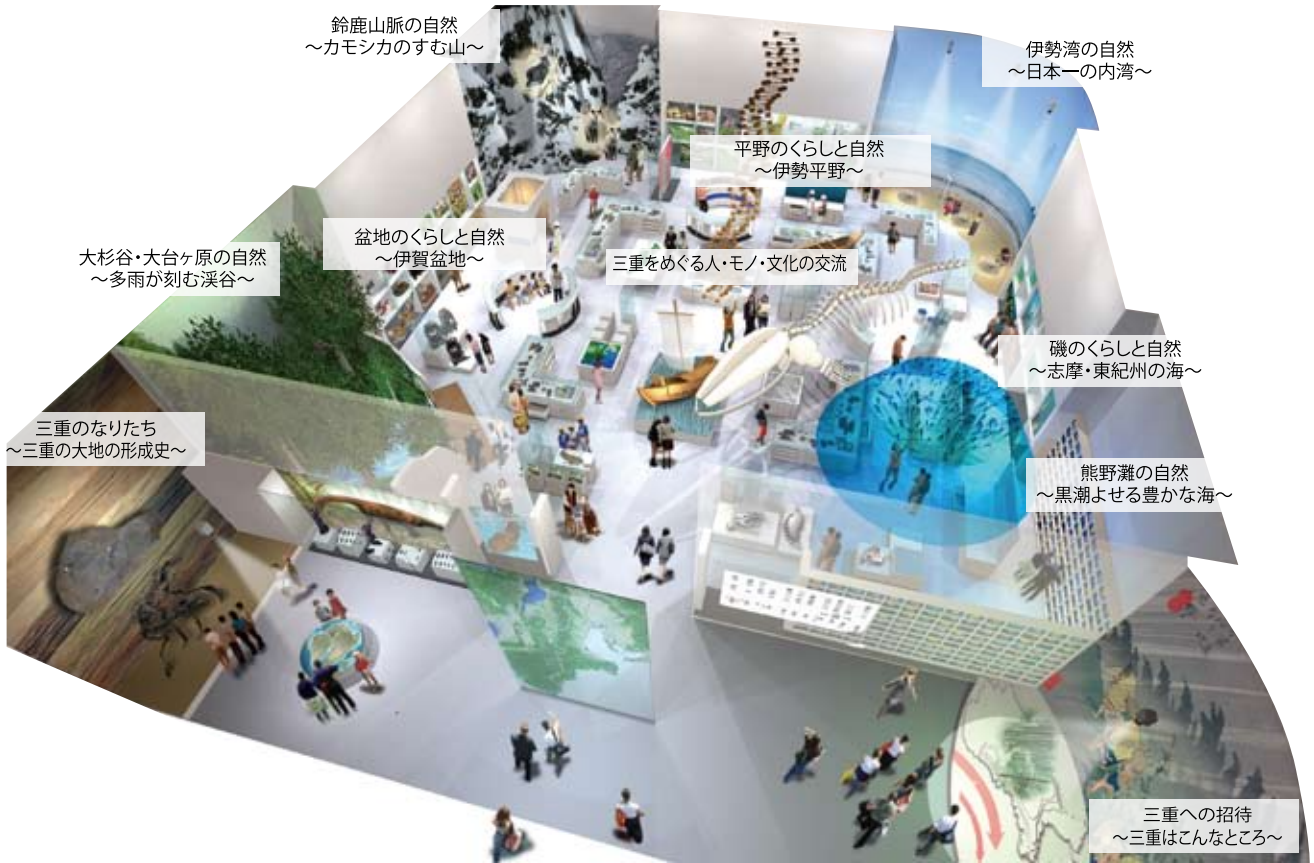
子どもが創る・発信する 子どもが主役の体験展示室



展示
エリア

「感じる」「自分とつながる」 「展示活動に参加できる」展示

基本展示室のイメージ



感じる展示

多様で豊かな自然や多彩な交流を空間体験を通して、体感的に伝える展示です。



知る・つながる展示

ハンズオンなどの感覚に訴える展示手法や、現在の私たちの身のまわりの様子との比較をとおして、より身近に感じてもらう展示です。



調べる・参加する展示

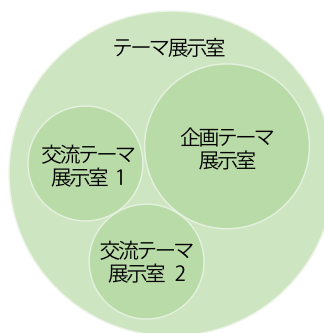
展示室内に三重の自然と歴史・文化に関する情報・書籍コーナーを配置します。県民のみなさんから寄せられた最新の地域情報を調べたり、書籍を閲覧できます。地域とのつながりをめざし、展示に関するワークショップを実施します。



テーマ 展示室

さまざまな展示を可能にする
フレキシブルな空間

■ テーマ展示室の構成



■ 連携と展開例

